



## 市・史跡

### 魚津町奉行所跡

魚津市双葉町（長教寺）

江戸時代、魚津での行政は、当初魚津城代が新川郡を統轄していた。一国一城令により魚津城は廃城となり、大音主馬厚用の時代である寛永4（1627）年から魚津在住として魚津町と新川郡を治めることとなった。しかし万治3（1660）年、魚津町奉行と郡奉行が明確に区別され、岡田十右衛門が単独の町奉行として魚津町の行政を司ることとなった。明治2（1869）年に町奉行が廃止になるまで200年あまりにわたって魚津町を治めてきた。

現在の長教寺の場所は、魚津町を描いた江戸時代の絵図には「町奉行御貸家」と記載されている。ちなみに新川郡代が政務を行った郡奉行所は、現在の県総合庁舎付近にあり、江戸時代の絵図には「役屋舗」や「郡代御貸家」と書かれている。

現在の長教寺は、町奉行が廃止になった後に寺町からその跡地へ移転したもので、大音主馬厚用の菩提寺でもある。